

戦気 NO.22

Fighting Spirit

発行者: 三谷大和
 編集者: 岩井 淑
 八千代市八千代台東1-44-13 三谷大和スポーツジム
 電話 & Fax: 047(486)2476 ツヨクナロー
 メール: mitani-y@khaki.plala.or.jp
 URL: http://www.mitani-yamato.com/

マスコットの
 ごんごちゃんです!



11月1日 第9回 三谷大和スポーツジム スパーリング大会「戦気杯」開催

11月1日(日)、千葉県八千代市村上の抗酸化工房「アース・メイト」駐車場に野外特設リングを設置し『第9回三谷大和スポーツジム スパーリング大会』が開催され、29ジムの所属選手、家族、関係者が交流しました。



9時から「昭和46年会」のメンバーで世界タイトルマッチや後楽園ホールでのリングでおなじみのJBC所属の富樫光明リングアナウンサーの司会で開会式がスタートしました。



開会挨拶に立った三谷会長は「今回の参加希望者は180名を超えましたが日没などの関係で140名70試合を行います。今大会がみなさんのよりよい思い出のひとつとなり、怪我なく試合ができることを願っています」また、関係者のみなさんの多大な協力で大会が運営出来ていることを併せて報告しました。

ルール説明を2008年の全日本ミニマム級新人王で現在日本ミニマム級11位の鬼ヶ島竜選手が行いました。続いて、毎回、スパーリング大会会場とリング設置に多大の協力をされている「アース・メイト」の岡村勝輔顧問が熱い気持ちのこもった挨拶をされました。



選手宣誓は、今大会初参加の大橋ボクシングジムの松本圭祐選手が「宣誓。われわれ選手一同はスポーツマンシップに則り、正々堂々と戦うことを誓います」小学生の松本選手は「父親を超えてみたい」という気持ちで今大会への出場を決めたとのこと。

大会モラル説明では、イマオカジムの今岡会長が近隣の皆さん迷惑をかけないこと。出たゴミは処理すること。車に気をつけること。試合開始時、終了時は挨拶を忘れないことを説明しました。

医療チームとして、神奈川県相模原病院から駆けつけた中村医師と二人の看護婦がリングに上がり気持ちが悪くなったり、体調を崩した場合や万一の事故に備えて本部席に待機することが紹介されました。

午前の部(小学生、中学生、女子の部)

午前中の部として小学生の部、中学生の部、女子の部が合わせて32試合予定され、勝って嬉し涙を流し、負けて悔し涙を流しながらリングを降りる選手たち。その選手たちにリングを囲む観客や応援団から暖かい拍手が送られました。

世界ランカー嶋田雄大選手スペシャルスパーリング



午前の部の表彰式前にWBA世界ライト級15位現役世界ランカー嶋田雄大選手が二人の子どもとスペシャルスパーリングを行いました。二人とも現役の世界ランカーと手合わせ出来ると張り切り、積極的に攻撃し二人ともに嶋田選手をKOでマットに沈めました。



午前の部 小学生の熱戦

ちびっこボクシング教室



午後の部が始まる前に今大会を全面的にバックアップする昭和46年会が企画する「ちびっこボクシング教室」が開かれました。お父さんに連れられ初めてボクシングを見に来た子どもが本物のリングに上がり直接選手から手とり足取り教えてもらうという経験は子どもたちにとって貴重な体験となるでしょう。

午後の部(おやじ、一般の部)

午後の部は、おやじの部と一般の部で合わせて38試合が予定され、趣味でボクシングを続けている人やプロを目指す人など様々だが、気を抜いた試合は1試合もなくスパーリング大会なのだが出場選手は皆真剣に戦っていました。



WBCフライ級チャンピオン内藤大助選手登場



日も落ち暗くなった午後の部の表彰式前にスペシャルゲストとして今月29日にWBCタイトル防衛戦を控えている内藤大助チャンピオンが拍手の中で登場しました。「こういう大会を見るとモチベーションが上がるし、会場に来られない方はテレビを見て応援をお願いします」と挨拶をしていました。



閉会式では大会評価をボックスファイの飯田覚士会長が述べ、閉会の言葉をイマオカジムの今岡武雄会長が述べ、長かった1日が終わりました。

次回の第10回スパーリング大会は2010年4月29日(祝)に開催予定です。